

本年度の重点目標	<p>「生徒が安心して学ぶことができる、安全で活力ある学校づくりを目指す」</p> <p>(1) 生徒一人ひとりを理解し、個々に応じた粘り強い指導に当たり、全職員が協力して社会へつなぐ役割を果たす。</p> <p>(2) ICT機器を活用した教育活動の推進、教科の特性に応じた効果的な利用方法について情報共有を図るなど、教職員の指導力向上に努める。</p> <p>(3) 通級指導の充実・発展を図る。</p> <p>(4) 不祥事を他人事とせず、教職員一人ひとりが自分自身の問題として意識する。</p> <p>(5) 教職員の多忙化解消に向け、相互の協力体制を強化し、協働して業務に当たる。</p> <p>(6) 定時制通信制教育アップデートプラン運用開始に向けて準備をする。</p>			
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項（達成基準を含む）	中間評価
PTEA 活動 （総務部）	PTEA 役員・クラス委員の活動の充実	PTEA 役員・クラス委員の保護者との連携をはかり、より多くの方に活動に参加して頂く。	PTEA 役員・クラス委員の方と連携して進める。 A：行事への参加が80%以上できた B：行事への参加が70%以上できた C：行事への参加が50%以上できた D：行事への参加が50%未満	4つの大きなPTEA役員・委員活動のうち、1つのみ終了している段階で、半数以上の方の参加があった。達成基準としてC以上である。年度後半にむけて更なる参加があるようにしたい。
学習指導 （教務部）	外国籍生徒へ対する日本語指導の充実	学習言語である日本語の理解度を高めるための指導を推進する。	日本語指導の充実を図る。 A：80%の生徒が日本語能力検定4級に達する B：65%の生徒が日本語能力検定4級に達する C：50%の生徒が日本語能力検定4級に達する D：35%の生徒が日本語能力検定4級に達する	1年生28名が日本語教室に参加し、2年生15名が日本文化理解を受講している。日本語能力試験4級以上のレベルに到達するために日本語の学習を継続している。
生徒指導 （生徒指導部）	あいさつ運動の強化	登校時に校門付近に立ち、ローテーションを組んで全職員であいさつ運動を実施する。	自然にあいさつできる。 A：自然にあいさつができる生徒が75%以上 B：自然にあいさつができる生徒が60%以上 C：自然にあいさつができる50%以上 D：自然にあいさつができる50%未満	生徒は、概ねあいさつができる。自ら進んであいさつができる状況へ改善していきたい。朝礼などで声掛けを繰り返し全職員で立ち番指導ができる体制を徹底していきたい。
生徒会活動 （生徒会部）	生徒主体の生徒会活動の構築	生徒会執行部を中心に生徒の意見を取り入れ、各種行事の企画・改善を図る。	アンケート等を活用し、生徒の意見を集約する。 A：80%の行事が生徒主体で企画・改善できた B：65%の行事が生徒主体で企画・改善できた C：50%の行事が生徒主体で企画・改善できた D：35%の行事が生徒主体で企画・改善できた	球技大会、生活体験発表会は教員のみでなく、生徒会執行部の意見も取り入れ、昨年の反省を改善できた。主体的な活動ができたと感じた生徒は全体の約30%であるため、改善の余地がある。
教育相談 （教育相談部）	通級授業の充実と、生徒・職員双方が通級指導に対する理解を深める	1年生を対象に総合の授業などを通じて、通級による指導で行っている指導を実践、体験する。	指導内容については教材、指導案などを準備しておく。 A：80%の生徒・職員双方が通級指導への理解を深めた B：65%の生徒・職員双方が通級指導への理解を深めた C：50%の生徒・職員双方が通級指導への理解を深めた D：35%の生徒・職員双方が通級指導への理解を深めた	1年生に対し通級による指導の説明を後期に行う。1年生の教員が指導を実践し、生徒と共に体験し、理解を深める。保護者に合格者説明会、入学式後に説明を行った。後期に、保護者にも説明文書を配布して理解を深めていただく。
保健・清掃指導 （保健厚生部）	主体的に健康な生活を送ることができる生徒の育成	アンケート等により生徒の健康課題を把握した上で、状況に応じた健康に関する情報を発信し主体的行動を促す。	アンケート等を活用し、状況把握と分析に努める。 A：生徒の主体的行動がみられた。 B：生徒の状況に応じた情報を発信できた。 C：生徒の健康課題を把握できた。 D：上記A～Cが実践できなかった	全校生徒を対象に「相談すること・されること」についてアンケートを実施中。今後、結果を分析し、生徒が主体的に行動できるための方策を検討、実施していく。
進路指導 （進路指導部）	キャリア教育の充実と主体的な進路実現に取り組む意識の向上	各学年と連携を図りながら、適切な進路情報を提供する。	個々の生徒の特性に配慮しながら進路学習を進める。 A：具体的な進路を検討できる生徒が90%以上 B：具体的な進路を検討できる生徒が70%以上 C：具体的な進路を検討できる生徒が50%以上 D：具体的な進路を検討できる生徒が50%未満	卒業学年において生徒の希望する企業への採用選考および希望する各種学校への出願などが概ねできている。しかし、まだ決定していない生徒もあり、継続的な指導が必要である。

図書館活動 (教務部)	生徒の主体的な読書活動と図書館利用の促進	授業における図書館利用を促進する。年度当初の新入生オリエンテーション時に、アンケートをとり生徒の希望図書を集約する。	生徒への貸出冊数を増やす。 A：生徒への貸出冊数が前年度比110%以上 B：生徒への貸出冊数が前年度比100%以上 C：生徒への貸出冊数が前年度比70%以上 D：生徒への貸出冊数が前年度比50%未満	授業における図書館利用を進めているが、本の貸出冊数はそれほど伸びてはいない。理由としては猛暑でエアコンが必要であったため、図書館の生徒訪問者数が伸びたからである。
情報管理・情報発信 (教務部)	生徒用タブレットの運用促進	利用するアプリのユーザ管理を行い、授業において効果的に利用できるようにようサポートする。	タブレット等のICT機器を利用し授業を実践する。 A：授業全体における運用が6割以上 B：授業全体における運用が4割以上 C：授業全体における運用が2割以上 D：授業全体における運用が2割未満	教科ごとに偏りはあるものの、タブレット端末の利用は広がっている。タブレット端末以外の情報機器も含め、さらなる利用推進をしていきたい。
第1学年 (1年学年会)	基本的な生活習慣の確立	あいさつや身だしなみ、時間を守ることなどの大切さをことあるごとに話し、意識したらできるようにしていく。それを継続し、意識しなくてもできるように習慣化させていく。	客観的に評価をし A：できている生徒が80%以上 B：できている生徒が60%以上 C：できている生徒が40%以上 D：できている生徒が40%未満	全体ではことあるごとに話をしている内容なので、大方は伝わっている。クラスによって多少差があるかもしれないので、教員間での意識の統一も図りつつ、全体としてもさらなる周知、徹底をしていきたい。
第2学年 (2年学年会)	進路意識の涵養	会社見学、ボランティア活動、オープンキャンパス等への積極的な参加を促す。以て「かくありたき自己像」を考え始める契機を提供する。	左記のような学校外の取り組みに。 A：参加できた生徒が80%以上 B：参加できた生徒が60%以上 C：参加できた生徒が40%以上 D：参加できた生徒が40%未満	十分な取り組みができた。生徒保護者に更なる理解を促すために、後期保護者時に進路関係の企画を行いたい。
第3・4学年 (3・4年学年会)	進路実現や卒業後を見据え、自己啓発に励む生徒の育成	進路実現に向けて、自分に何が必要で、何が足りないのかを自己分析させ自己啓発を図るように促す。	自発的に自己啓発に取り組む。 A：取り組んでいる生徒が80%以上 B：取り組んでいる生徒が60%以上 C：取り組んでいる生徒が40%以上 D：取り組んでいる生徒が40%未満	概ね良好である。4月より格段に自己分析できている。進路実現に向け、将来を見据えた動きがとれている。まだ、大人の手を借りて頑張っている部分があるので、残り数か月でもう一段階成長させたい。
いじめ防止対策の推進	学校いじめ防止基本方針に基づいたいじめ防止に係る取組の充実	アンケート調査等を利用していじめの早期発見をする。いじめの発見・通報を受けたら「いじめ防止・対策委員会」にて組織的に対応する。	いじめの早期発見等に全職員で取り組む A：いじめの重大事態が0件 B：いじめの重大事態が1件以内 C：いじめの重大事態が2件以内 D：いじめの重大事態が3件以上	現在、いじめの重大案件は0件である。生徒指導部のアンケート調査や担任面接などを通して、効果的にいじめの早期発見に努めている。日常の学校生活を注視し、いじめ防止に向け今後も取り組んでいきたい。
勤務時間の適正な管理	長時間労働による健康障害の防止	1か月の時間外労働が45時間を超える教職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認を行い、教職員の健康障害防止に努める。	校務等の削減をして時間外労働時間を減らす。 A：時間外労働時間45時間以上が0名 B：時間外労働時間45時間以上が3名以内 C：時間外労働時間45時間以上が5名以内 D：時間外労働時間45時間以上が6名以上	施錠時間を早め、職員への計画的な仕事の従事を促している。繁忙期に校務を1人で抱えないように分掌、学年、教科内の組織で行える分掌援助システムの構築を検討する必要がある。